



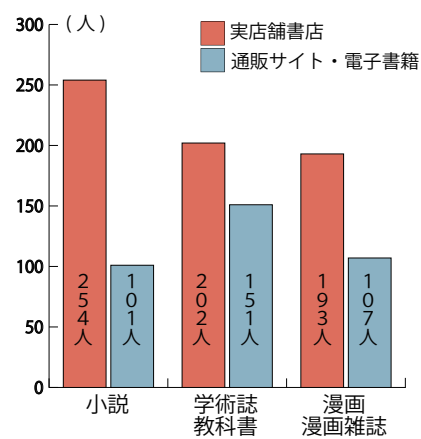
筑波大生と書店



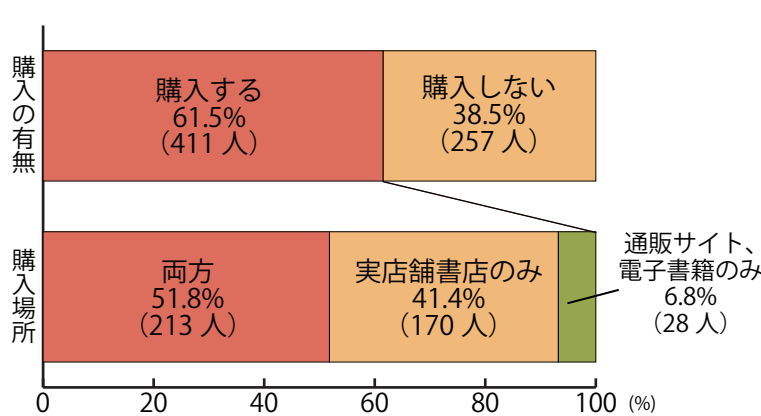
「書店少ない」の声多数

研究者や学生が多いつくば市は、2016年に書店が3店舗も閉店した。これを機に今回、筑波大学生668人にアンケートを行い、本の購入状況や市内の書店の利用状況などを探った。(西村大祐「人文書類、飯田健介、國井俊介、牧田宗大」「社会学類、加藤優花」「国際総合学類、竹添そら」「知識情報・図書館学類」)

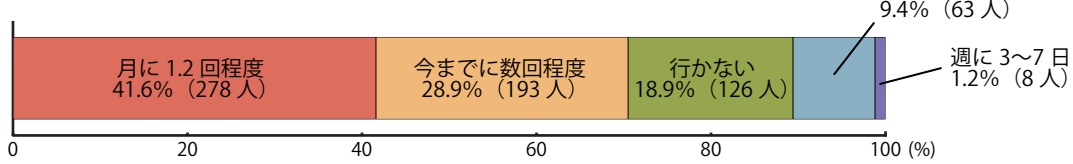
購入する本の種類 (複数回答可)



本を購入するか・本の購入場所



つくば市内の書店に行く頻度



(四捨五入につき必ずしも100%にはならない)

◆調査方法
10月9~16日に、総合科目や学群の授業などでつくば市の書店や本の消費行動に関するアンケートを実施した。設問は選択回答を含め14項目。計668人から回答を得た。学群別の内訳は、人文・文化121人、社会・国際93人、人間90人、生命環境48人、理工105人、情報103人、医18人、体育専門39人、芸術専門47人、大学院3人、科目等履修生1人だった。

調査結果



市内の書店



専門書を多く陳列

普段、本を購入する際の質問に対し「はい」と答えた学生は61.5% (411人) で「いいえ」は38.5% (257人) だった。「はい」と回答した411人に、本の購入場所を尋ねたところ、41.4% (170人) が「実店舗書店のみ」と回答。「通販サイト、電子書籍のみ」と答えたのは6.8% (28人)、「両方」と答えた人は51.8% (213人) だった。

アンケート結果を受けて、市内の書店4店舗に売り上げや学生に向けた対応などを聞いた。

LIBRO

1986年よりつくば駅前「西武筑波店」で営業として営業中だ。

約90平方メートルに広がって、市内の書店4店舗に売りを取らざるを得ない。約4万冊の本を販売。研究者や学生が多い影響で専門書も多く扱っている。

エリアマネージャーの稲葉順さんは「専門書を探る顧客を大切に、多くの人に親しまれる書店にしたい」と語った。

丸善

筑波大学学生会館別館にあり、教科書から雑誌まで多様な本をそろえ、学生や

約90平方メートルに広がって、市内の書店4店舗に売りを取らざるを得ない。約4万冊の本を販売。研究者や学生が多い影響で専門書も多く扱っている。

「理学書」フェア開催中の丸善 (10月26日、大学会館で) = 加藤優花撮影



「理学書」フェア開催中の丸善 (10月26日、大学会館で) = 加藤優花撮影

各学類向けに取りそろえ

筋が良いという。店員の井上純子さんによると、数カ月ごとに学問分野に応じた本を展示するフェアを行い、11月は理数系の本の紹介を行う。また「ミニフェア」と題し、季節ごとに店員のおすすめの作家やジャンルの紹介コーナーを設置。11月は留学生を対象に日本文学の英訳本を紹介している。

視点



CADEMIAも、医学類生向けの医学書や、留学生向けの日本語の学習参考書を扱うほか、大学指定の教科書を用意する。筑波大の丸善でも、各学類向けに参考書を用意している。書店に訪れなければ分からないこととは多い。



えほんや なずなの店内 (10月30日、つくば市竹園で) = 竹添そら撮影

「ライブ感」大切に

えほんや なずな

「ライブ感」を大切に、家庭で絵本の読み聞かせが日常的に実践されることを目標に営業している。

同書店では、おすすめの本の読み聞かせや手作りの包装紙によるラッピングを提案。書店でしか味わえない本を手取る「ライブ感」を大切にしている。

LIBRO

「本好きの人の成長に本は不可欠」と考え、16年「えほんやなずな」と語った。



CADEMIAには多様な専門書が並ぶ (10月10日、つくば市研究学園で) = 國井俊介撮影

多様な企画を展開

「本好きの人の成長に本は不可欠」と考え、16年「えほんやなずな」と語った。

書店へ一度、足を運ぼう

「本好きの人の成長に本は不可欠」と考え、16年「えほんやなずな」と語った。

(飯田健介)

クラフト領域ガラス研究室 作品展示会

想像広げる 透明な世界



大田さんの作品「106」(9月7日、芸術系ギャラリーで) = 大田さん提供

人間総合科学研究科芸術専攻クラフト領域ガラス研究室の作品展示会「Yeoglass Lab. glass exhibition 2018」が9月4-28日まで芸術系棟の芸術系ギャラリーで開かれ、1年間の活動成果を発表した。

同展は2017年から開催。今年は大大学院生3人と担当教員の齋藤助教(芸術系)の作品全14点が展示された。

大田友子(芸術前期2年)は「illusio n」など長靴をモチーフにした3点を展示。作品は型にガラスを入れ、電気炉の中で溶かす「ガラス铸造」という手法で作られた。

第1部では「瑠璃色の空の下で 江川坦庵のパレード」は幕末に生きた幕臣・江川坦庵の業績を歌った曲。歌詞に合わせて時に激しく、時に朗々と歌い上げた。

最後は「この熱いうちに」怪獣のパレード」のメドレー。曲に合わせたタンバリンと団員たちの歌声が会場を盛り上げた。

公演は「リスト作曲交響詩『レ・プレリュード』」作品97で幕を開け、トラペットのファンファーレが会場を盛り上げた。

最後は「ブラームス作曲『交響曲第一番』」短調作品68。20年以上かけて作曲された大曲だ。団長の長谷川輔さん(エンス3年)が「曲調の変化に気をつけ」と話すように、第1楽章では弦楽器の旋律で暗く、第4楽章ではホルンの旋律で「明」を表現した。

チェロ協奏曲「短調作品104」民族舞曲のような曲調だった。最後は「ブラームス作曲『交響曲第一番』」短調作品68。20年以上かけて作曲された大曲だ。

公演は「リスト作曲交響詩『レ・プレリュード』」作品97で幕を開け、トラペットのファンファーレが会場を盛り上げた。

合唱の歌声 13曲響く

筑波大学合唱団むくどりの定期コンサートが、10月6日につくばカピオ(つくば市竹園)で開かれた。38回目の今年も「忘れたい曲がある」がテーマ。引退する部員の最後のもの、合唱曲だけでなく、ポップやジブリ映画の挿入曲、CMソングなど多彩なジャンルの13曲を披露した。

第1部では「瑠璃色の空の下で 江川坦庵のパレード」は幕末に生きた幕臣・江川坦庵の業績を歌った曲。歌詞に合わせて時に激しく、時に朗々と歌い上げた。

最後は「この熱いうちに」怪獣のパレード」のメドレー。曲に合わせたタンバリンと団員たちの歌声が会場を盛り上げた。

公演は「リスト作曲交響詩『レ・プレリュード』」作品97で幕を開け、トラペットのファンファーレが会場を盛り上げた。

最後は「ブラームス作曲『交響曲第一番』」短調作品68。20年以上かけて作曲された大曲だ。

公演は「リスト作曲交響詩『レ・プレリュード』」作品97で幕を開け、トラペットのファンファーレが会場を盛り上げた。

最後は「ブラームス作曲『交響曲第一番』」短調作品68。20年以上かけて作曲された大曲だ。

管弦楽団演奏会

筑波大学管弦楽団の第84回定期演奏会が10月7日にパホール(つくば市吾妻)で始まる。日本の物流を支えるトラックへ向けた応援歌を歌い切った。

最後は「この熱いうちに」怪獣のパレード」のメドレー。曲に合わせたタンバリンと団員たちの歌声が会場を盛り上げた。

公演は「リスト作曲交響詩『レ・プレリュード』」作品97で幕を開け、トラペットのファンファーレが会場を盛り上げた。

最後は「ブラームス作曲『交響曲第一番』」短調作品68。20年以上かけて作曲された大曲だ。

公演は「リスト作曲交響詩『レ・プレリュード』」作品97で幕を開け、トラペットのファンファーレが会場を盛り上げた。

最後は「ブラームス作曲『交響曲第一番』」短調作品68。20年以上かけて作曲された大曲だ。

人生の一場面を切り取った音

巻収録で、快活な曲調。浅見さんは「疾走感溢れる原始的な印象を受ける曲」という。

冒頭、狩の開始を合図する角笛のような力強い和音が響く。その後、軽やかで明るい主題が紡がれ、元氣よく狩りに向かう様子が連想された。

だが雰囲気は、アクセントの付いたソノの音で一変する。獲物を見定めるような緊張感漂う間奏だ。終盤では、再び冒頭のイ長調の賑やかさを取

り戻す。前半に右手で弾いた主題を今度は左手で

奏で、そこに右手の伴奏が重なる。獲物を捕らえ意気揚々と帰っていく姿

「リズムのメリハリを意識し、狩人の勇ましさを表現した」(浅見さん)という。

2曲目は、高橋聖弥さん(物理3年)のショパン「ワルツイ短調」。ショパンが友人の家族のために作曲したが、高橋さんは「ダンスのためのワルツというより、内面的なものを表現する奏者まかせの曲」と話す。憂鬱な印象を受けるが、短い裝飾音符で飾られた美しい

主旋律に引き込まれる。技術面でもこだわりがある。左手の三拍子の伴奏では「小さいけれど芯のある音」を目指し、和音を構成する音をバランスよく響かせた。また、曲の雰囲気を変えないように各フレーズ(旋律の一区切り)の移行が滑らかなように練習したという。「ピアノを始めたらは高校生の時。人生初のコンサートだった」(高橋さん)というが、繊細な演奏で観客を魅了した。

谷本明梨さん(社11年)は同じく「ショパン」エ

奏で、そこに右手の伴奏が重なる。獲物を捕らえ意気揚々と帰っていく姿

巻収録で、快活な曲調。浅見さんは「疾走感溢れる原始的な印象を受ける曲」という。

冒頭、狩の開始を合図する角笛のような力強い和音が響く。その後、軽やかで明るい主題が紡がれ、元氣よく狩りに向かう様子が連想された。

だが雰囲気は、アクセントの付いたソノの音で一変する。獲物を見定めるような緊張感漂う間奏だ。終盤では、再び冒頭のイ長調の賑やかさを取

り戻す。前半に右手で弾いた主題を今度は左手で

奏で、そこに右手の伴奏が重なる。獲物を捕らえ意気揚々と帰っていく姿

「リズムのメリハリを意識し、狩人の勇ましさを表現した」(浅見さん)という。

2曲目は、高橋聖弥さん(物理3年)のショパン「ワルツイ短調」。ショパンが友人の家族のために作曲したが、高橋さんは「ダンスのためのワルツというより、内面的なものを表現する奏者まかせの曲」と話す。憂鬱な印象を受けるが、短い裝飾音符で飾られた美しい

主旋律に引き込まれる。技術面でもこだわりがある。左手の三拍子の伴奏では「小さいけれど芯のある音」を目指し、和音を構成する音をバランスよく響かせた。また、曲の雰囲気を変えないように各フレーズ(旋律の一区切り)の移行が滑らかなように練習したという。「ピアノを始めたらは高校生の時。人生初のコンサートだった」(高橋さん)というが、繊細な演奏で観客を魅了した。

谷本明梨さん(社11年)は同じく「ショパン」エ

奏で、そこに右手の伴奏が重なる。獲物を捕らえ意気揚々と帰っていく姿

ピアノ愛好会

ピアノ愛好会の新人デビューコンサートが10月20日にアルスホール(つくば市吾妻)で行われ、全5曲が披露された。会場、「音」を聞いた。

コンサートは浅見理王さん(社11年)のメンデルスゾーン『狩の歌』で幕を開けた。ピアノ小曲集『無言歌集』の第1

巻収録で、快活な曲調。浅見さんは「疾走感溢れる原始的な印象を受ける曲」という。

冒頭、狩の開始を合図する角笛のような力強い和音が響く。その後、軽やかで明るい主題が紡がれ、元氣よく狩りに向かう様子が連想された。

だが雰囲気は、アクセントの付いたソノの音で一変する。獲物を見定めるような緊張感漂う間奏だ。終盤では、再び冒頭のイ長調の賑やかさを取

り戻す。前半に右手で弾いた主題を今度は左手で

奏で、そこに右手の伴奏が重なる。獲物を捕らえ意気揚々と帰っていく姿

「リズムのメリハリを意識し、狩人の勇ましさを表現した」(浅見さん)という。

2曲目は、高橋聖弥さん(物理3年)のショパン「ワルツイ短調」。ショパンが友人の家族のために作曲したが、高橋さんは「ダンスのためのワルツというより、内面的なものを表現する奏者まかせの曲」と話す。憂鬱な印象を受けるが、短い裝飾音符で飾られた美しい

主旋律に引き込まれる。技術面でもこだわりがある。左手の三拍子の伴奏では「小さいけれど芯のある音」を目指し、和音を構成する音をバランスよく響かせた。また、曲の雰囲気を変えないように各フレーズ(旋律の一区切り)の移行が滑らかなように練習したという。「ピアノを始めたらは高校生の時。人生初のコンサートだった」(高橋さん)というが、繊細な演奏で観客を魅了した。

巻収録で、快活な曲調。浅見さんは「疾走感溢れる原始的な印象を受ける曲」という。

冒頭、狩の開始を合図する角笛のような力強い和音が響く。その後、軽やかで明るい主題が紡がれ、元氣よく狩りに向かう様子が連想された。

だが雰囲気は、アクセントの付いたソノの音で一変する。獲物を見定めるような緊張感漂う間奏だ。終盤では、再び冒頭のイ長調の賑やかさを取

り戻す。前半に右手で弾いた主題を今度は左手で

奏で、そこに右手の伴奏が重なる。獲物を捕らえ意気揚々と帰っていく姿

「リズムのメリハリを意識し、狩人の勇ましさを表現した」(浅見さん)という。

2曲目は、高橋聖弥さん(物理3年)のショパン「ワルツイ短調」。ショパンが友人の家族のために作曲したが、高橋さんは「ダンスのためのワルツというより、内面的なものを表現する奏者まかせの曲」と話す。憂鬱な印象を受けるが、短い裝飾音符で飾られた美しい

主旋律に引き込まれる。技術面でもこだわりがある。左手の三拍子の伴奏では「小さいけれど芯のある音」を目指し、和音を構成する音をバランスよく響かせた。また、曲の雰囲気を変えないように各フレーズ(旋律の一区切り)の移行が滑らかなように練習したという。「ピアノを始めたらは高校生の時。人生初のコンサートだった」(高橋さん)というが、繊細な演奏で観客を魅了した。

谷本明梨さん(社11年)は同じく「ショパン」エ

奏で、そこに右手の伴奏が重なる。獲物を捕らえ意気揚々と帰っていく姿



コンサートの最後を飾った三嶋さん(10月20日、アルスホールで) = 同会提供



歌詞に合わせて歌い上げるむくどりの団員ら (10月6日、つくばカピオホールで) = 飯田健介撮影

チェロ協奏曲「短調作品104」民族舞曲のような曲調だった。最後は「ブラームス作曲『交響曲第一番』」短調作品68。20年以上かけて作曲された大曲だ。

公演は「リスト作曲交響詩『レ・プレリュード』」作品97で幕を開け、トラペットのファンファーレが会場を盛り上げた。

最後は「ブラームス作曲『交響曲第一番』」短調作品68。20年以上かけて作曲された大曲だ。

公演は「リスト作曲交響詩『レ・プレリュード』」作品97で幕を開け、トラペットのファンファーレが会場を盛り上げた。

最後は「ブラームス作曲『交響曲第一番』」短調作品68。20年以上かけて作曲された大曲だ。

公演は「リスト作曲交響詩『レ・プレリュード』」作品97で幕を開け、トラペットのファンファーレが会場を盛り上げた。



食と酒東北祭り(木村誠撮影)

俳句 筑波大

「濁り酒」・うはずみに混ざる雨滴や濁り酒

雨冷たき舌に舌が喜ぶ。したたか酔って

濁り酒(ごぶろく)は秋の季節語

未成年の読者には申し訳ないが今回はお酒の話。担当編集者に「締切近くに駅前(へ食と酒東北祭り)があります」と知らされ、取材と称して2日目の10月14日、雨の中行ってきた。東北各県の銘酒やゲルメが目白押し。とりわけ濁り酒には目がないのであれこれと試飲した。濁り酒(ごぶろく)は秋の季節語。清酒よりも濃厚で舌が喜ぶ。したたか酔って編集者に「酒祭り最高!」と連絡したら「食と東北が抜けています」と怒られた。

(文・俳句 堀下翔文芸・言語専攻1年)



内山田 康 教授(文化人類学)

人文社会系・教授。ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス修了。エディンバラ大学講師などを経て、2014年より現職。

私は何も成し遂げる前に死にたくなかったの

英国で就職しようとしていた折に、外務省が中心となって世界最高レベルの国際開発大学院大学をつくる構想の実現のために誘われて日本に戻った。だが彼らは日本の成体験に囚われていて

オランダ各地取材



「オランダ各地で木村誠、益本健太II人文学類、越智小夏II比較文化学類、秋田耕平、森實遼太II社会学類」国会議員が8月、性的少数者を念頭に「生産性がない」と発言するなど、性の多様性に対する日本の一部の識者の姿勢に批判が集まっている。一方、筑波大学では性的少数者に関するガイドラインを作るなどの対応を進めるが、学生や教職員の理解は十分とはいえない。このような中、本紙は8月、性的少数者への理解が最も進むとされるオランダ取材、その現状を探った。

「性の革命」を経て理解進む

権利獲得の歴史

オランダで性的少数者への理解が進んだ背景には何があったのか。性的少数者研究の第一人者である元アムステルダム大学教授のヘルト・ヘクマ氏に性的少数者の権利獲得の歴史などを聞いた。ヘクマ教授の発言や、元教授がこれまでに著した論文の要旨は以下の通り。

■発達前
オランダは今でこそ性に
関する政策で最も進歩的な
国の一つとされるが、近代
までは他の欧州諸国と同
様、キリスト教の影響が強
く、同性愛などは「異端」
とされ迫害対象だった。性
愛は男女間のものが絶対と
され、当時、同性愛は悪魔
の見直しを開始。50年代に
なるとこれらの人々の働き
かけもあり、性倫理に厳格
なキリスト教会がこの動き
に同調するようになる。そ
の時期は、若者や女性
らが自らの権利拡大を求め
る運動が活発化し、これも
相まって欧米で進歩的な性
の価値観が受け入れられる
ようになった。これらの一
連の動きは「性の革命(s
exual revolution)」と呼ばれてい
る。

■性的革命
この後、1940年代か
ら60年代にかけて変化が現
れる。それまで同性愛を「精
神疾患」と捉えてきた社会
が、同性愛への見方を改め
始めたのだ。まず40年代、
一部の精神科医や社会福祉
士などが性に関する価値観
の見直しを開始。50年代に
なるとこれらの人々の働き
かけもあり、性倫理に厳格
なキリスト教会がこの動き
に同調するようになる。そ
の時期は、若者や女性
らが自らの権利拡大を求め
る運動が活発化し、これも
相まって欧米で進歩的な性
の価値観が受け入れられる
ようになった。これらの一
連の動きは「性の革命(s
exual revolution)」と呼ばれてい
る。

■同性結婚法成立へ
更に60年代ごろから、こ
れまで表立って同性愛を公
言していなかった人たちが
、次々とカミングアウト
し始める。71年には、
11年から続いていた同性愛
者の性行為の年齢制限が21
歳未満から、異性愛者と同
じ16歳未満に下がった。
94年には民族や性別、性
的指向などによる差別を全
面的に禁じる平等法を施
す。翌年から、国会に同性
同士の婚姻関係について議
論する審議会が設置され
た。2年間の議論の末、審
議会は同性同士の婚姻関
係を認めるべきだと答申
を認める。2000年に世界初の同性
結婚法が成立した。同法の
成立で、同性愛者の法的権
利獲得の大部分は達成され
た。

■ホモ・モニュメント
アムステルダム中央駅か
ら南西に約1キロ。アムステ
ルダム市内の主要3連河の
一つ、ケイザー運河に面す
る広場の横に、同性愛者の
記念碑「ホモ・モニュメン
ト」がある。「ピンク・ト
ライアングル」と呼ばれる
御影石製のピンク色の三角
形。ナチスに迫害された
同性愛者を追悼するため
1987年に設置され、そ
の色と形はゲイがホロコー
プの犠牲者であることを象
徴している。

■イタリア人のゲイカッ
プル
その前で、アムステル
ダムの性的少数者の社会受
容について聞いた。

【女性市民】
同性が性的少数者に寛容
なのはごく普通のこと。誰
もが心地よく暮らせる場所
だ。

【ドイツ人男性】
ドイツは昨年、同性同士の
結婚が異性同士の結婚と
同じ権利を得たが、アムス
テルダム市は寛容な国だ。
寛容なのは良いことだが、別
の政策に注力すべきだ。

【別の女性市民】
市は性的少数者
に注意を払い過ぎ
だ。寛容なのは良
いことだが、別の
政策に注力すべき
だ。



性的少数者研究の第一人者であるヘルト・ヘクマ元教授(8月24日、ヘクマ元教授の自宅で) = 木村誠撮影

世界初の同性結婚法成立

アル(両性愛者)やトランスジェンダーIIを差別することも。団体内でこのような問題が起きないように注意している。

性的少数者の存在を訴える

解決すべき問題は、
アムステルダム大 国内

でも(性的少数者への)理
解に地域差がある。オラン
ダ南部の独ヘルギーの国
境近くの街マーストリヒト
出身だが、南部は北部に比
べ理解が進んでいないと感
じる。

大学は特別な支援を
していません。
ライデン大 性的少数者
が望めば、心理学を学ぶ学
生に相談できる。対等な関
係である学生と話せる利点
があるが、学生が対処でき
ない場合は、専門家が対応
する。

トランスジェンダーII
の学生がトイレなどを利用
する際、困難はありますか。
アムステルダム大 性別
に関係なく使えるトイレも
導入されているが、男女別
の方が多。だが、学生の
理解があるため、あまり問
題はないと感じる。

ライデン大 大学で差別
を経験したことはない。
就職活動で苦労する
ことは。

アムステルダム大 基本
者はいらるが、性的指向や性
的指向は理由の差別は欧州連
合(EU)法などで禁止さ
れており、(差別されたら)
法的措置を取ったり、メ
ディアに訴えられる。テレ
ビに出演する有名なレズビ
アの警官がいるが、性的
少数者の存在が世間に広く
知れ渡った好例だ。

ライデン大 オランダで
は、性的な多様性を受け入
れる企業は多く、性的少数
者が就職活動で不利になる
ことは少ないと思う。

トランスジェンダーII
主に生まれた時の身体的な
性に違和感を持つ人。性的
「自認」を表し、どの性が
好きかという性的指向とは
関係ない。

大学での現状
最も力を入れている
活動は何ですか。
アムステルダム大 性的
少数者の学生の存在を訴え
る。性的指向や性自認に関わ
らず(自分が受け入れられ
る)と感じられる場を
提供している。

ライデン大 性的少数者
内での差別をなくす活動も
行う。ゲイ(男性の同性愛
者)やレズビアン(女性の
同性愛者)が、バイセクシュ
アル(両性愛者)やトラン
スジェンダーIIを差別
することも。団体内で
このような問題が起きない
ように注意している。



ライデン大学の学生ら(8月27日、ライデン大学で) = 秋田耕平撮影

トランスジェンダーII
の学生がトイレなどを利用
する際、困難はありますか。
アムステルダム大 性別
に関係なく使えるトイレも
導入されているが、男女別
の方が多。だが、学生の
理解があるため、あまり問
題はないと感じる。

ライデン大 大学で差別
を経験したことはない。
就職活動で苦労する
ことは。

アムステルダム大 基本
者はいらるが、性的指向や性
的指向は理由の差別は欧州連
合(EU)法などで禁止さ
れており、(差別されたら)
法的措置を取ったり、メ
ディアに訴えられる。テレ
ビに出演する有名なレズビ
アの警官がいるが、性的
少数者の存在が世間に広く
知れ渡った好例だ。

ライデン大 オランダで
は、性的な多様性を受け入
れる企業は多く、性的少数
者が就職活動で不利になる
ことは少ないと思う。

トランスジェンダーII
主に生まれた時の身体的な
性に違和感を持つ人。性的
「自認」を表し、どの性が
好きかという性的指向とは
関係ない。

ライデン大 オランダで
は、性的な多様性を受け入
れる企業は多く、性的少数
者が就職活動で不利になる
ことは少ないと思う。

トランスジェンダーII
主に生まれた時の身体的な
性に違和感を持つ人。性的
「自認」を表し、どの性が
好きかという性的指向とは
関係ない。



本紙記者の取材に応じる女性(8月27日、ホモ・モニュメント前で) = 木村誠撮影

【日本人女性】
旅行で訪れたが、(モニュメントが)ど
ういった場
所かそもそ
も知らなか
った。LG
BTという
言葉も今回
初めて聞い
た。



同性愛者の記念碑「ホモ・モニュメント」(8月27日、アムステルダム市で) = 木村誠撮影

「寛容なのは普通のこと」

市の性的少数者
の受容は信じら
れないくらい良
い。(性的少数者
が)何をして後
ろ指をさされるこ
とはない。ホモ・
モニュメントはま
さに、同市の性的
少数者に対する寛
容さを象徴してい
る。

筑波大「海外武者修行支援プログラム」助成

性的少数者への理解 最も進む

コミュニティ形成を支援



COCのダイク氏(8月28日、アムステルダム事務所) = 木村誠撮影

性的少数者団体

オランダには世界最古の性的少数者団体「COC(Nederland)」がある。創立は1946年で、会員数はボランティアを含めると約1500人。アムステルダムの事務所の一つを訪れ、同団体ディレクターのコーエン・ファン・ダイク氏に話を聞いた。同氏の発言要旨は以下の通り。

最も力を入れる活動は、小学校などの学校での性的少数者への理解の促進だ。性愛が許されていない国が

オランダ人当事者

日本に計3年在住し、日本、デンマーク、英国の3カ国で性の多様性を研究してきたゲイのオランダ人教授であるウィム・ルンシン氏(57)に、近年のオランダの状況を聞いた。

元教授は「小さい頃から家族と(自分の性自認や性的志向について)話し合うことが多かった。ゲイや



ルンシン元教授(8月28日、アムステルダム市) = 秋田耕平撮影

視点

オランダでの取材で最も印象に残るのは、世界初の同性結婚法成立に尽力した元アムステルダム市長のヨフ・コーヘン氏の言葉だ。

理解には対話が重要

元市長は、性的少数者への理解を進めるには「対話を重ねることが重要だ」と話したが、まさにこの通りだと思う。

市保健局

アムステルダム市保健局の担当者、ウィルコ・スヒルトイス氏に同市の性教育の現状を聞いた。

性教育 専門家に委託も

教師自身が、性自認や性的指向の多様性を教えることが多い。この際、市保健局は、教師に指導方法を教えるほか、必要な教材があれば無償で提供するという。

発達段階に合わせ実施

性教育は4〜12歳の初等教育と12〜18歳の中等教育で、発達段階に合わせて行われるが、初等教育では、教師と児童が気軽に話し合える関係築くため、具体的な避妊法なども学



アムステルダム市保健局のスヒルトイス氏(8月28日、同保健局) = 木村誠撮影

Hello! 先端研究



征矢英昭教授

「試験前に単語や公式などをなかなか覚えられない」「1歳を重ねると」と記憶力が低下する...

「特別な存在ではない」

ことを世界で初めて発見

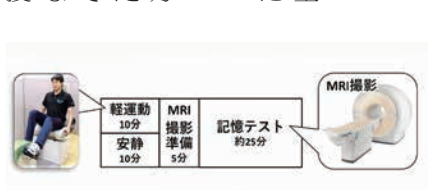
生物は、見る、味わうなどの刺激を脳の中心部の海馬で最初に記憶する

軽い運動で記憶力向上

脳内の「歯状回」が活発化

物事を分類して記憶する部位「歯状回」は、過去の運動によって解決するかもしれない。征矢英昭教授(体育学)らのグループは、ジョギングやヨガのような超低強度軽運動

は不明だった。このため、征矢教授は歯状回を測定できる特別なMRIを使い健康な大学生の男女36人を調査。運動後と安静後の歯状回の動きと記憶力を測定した。



MRIを用いた運動時と安静時の実験の流れ = 征矢教授提供



記憶力を測るテストで出された問題の一例 = 征矢教授提供

◆おまわり

「卒業生からの手紙」は、休みました。

知症患者に対して運動で同様の効果が得られるか研究している。(國井俊介)II社会科学類1年、佐藤巧基II物理学類3年

超低強度軽運動II感覚的にはかなり乗った感じの心拍数が、若齢者で100、高齢者で90程度になる運動。

早稲田大に敗れ優勝逃す

秋季関東大学リーグ



スパイクを打つ樋口(10月20日、早稲田大戦で) = 佐藤巧基撮影

バレー

【深谷市総合体育館(埼玉県深谷市)で飯田健介(社会学類2年、佐藤巧基(物理学類3年、12面に関連写真)12大学が争う秋季関東大学男子リーグ戦が9月2日から10月27日に開催され、筑波大は8勝3敗で3位に終わった。また、主将の樋口裕希(体専4年)がブロンズ賞を受賞した。

20日に行われた最終戦の相手は、春季リーグでフルセットの末に敗北を喫した早稲田大。優勝を懸けた試合だったが、試合を通して筑波大は勢いに乗り、逆

ミスで主導権渡す

筑波大のミスが目立ち、1-3で敗れた。第1セット、序盤は拮抗した展開が続いた。だが、サーブミスから早稲田大に流れを奪われ、17-25でセットを先取された。

第2セットも、早稲田大の鋭いスパイクやサーブに翻弄され、主導権を終始奪えずに12-25でセットを落とした。

後がない第3セットでも悪い流れを断ち切れず、立て続けに失点。しかし中盤から小澤由輝(同3年)のスパイクや樋口のアロックで筑波大は勢いに乗り、逆

大接戦の末勝利つかむ

関東大学リーグ

バスケット

【つくばカピオ(つくば市竹園)で益本健太(社会学類3年、加藤優花(国際総合学類1年)12大学が争う関東大学リーグ戦が8月25日から行われている。筑波大男子は11勝8敗で5位につけている(10月28日現在)。

筑波大は9月29日に中央大と対戦。ホーム開催の大歓声の中、延長戦までもつれ込む大接戦の末89-82で勝利した。

筑波大は第1ピリオド開始後から積極的な攻勢を任



ドリブルで敵陣を突破する菅原(9月29日、中央大戦で) = 益本健太撮影

第3ピリオド、筑波大は効果的な守備で中央大の得点を防ぎ、13点差まで引き離した。第4ピリオド前半は一進一退の攻防が続いたが、終盤、中央大の猛攻に合い、一時は逆転を許した。だが試合終了直前に増田が3Pシュートを決めて同点に追いつき、79-79で延長戦へ突入。その後、筑波大は牧肇利(同3年)が勝負強いプレーで連続得点を決めると、着実に得点を重ね、89-82で勝利した。

増田は「今後も今回のような厳しい試合が続く。牧とともにエースとしての自覚を持って残りの試合に臨みたい」と話した。

吉田健司監督(体育系・准教授)は「(試合の)終盤は守備の役割分担ができておらず相手に逆転を許してしまっただけ。一人ひとりが他のチームメイトに頼らないよう意識の改善が必要だ」と述べた。

箱根駅伝予選敗退 陸上

【国営昭和記念公園(東京都立川市)で森賀遼太(社会学類2年)39大学が争う東京箱根間往復大学駅伝競走(箱根駅伝)予選会が10月13日に行われ、筑波大は10時間55分23秒で17位となった。来年1月の本戦への出場は逃したが、相馬崇史(体専2年)が1時間4分6秒で全体の67位に入り、2年連続で関東学生連合チームに選出された。

今年の箱根駅伝予選会は、出場校の選手が一同に出走し、各校上位10名の記録の合計で争い、上位11校が本戦に出場できる。筑波大は昨年より順位を2つ上げられたが、本戦出場にはあと8分32秒及ばなかった。

相馬は「練習を積んで本選出場を目指したい」と意気込んだ。

全日本学生選手権 史上初 団体戦5連覇



秋季リーグ、インカレともに活躍した山中(左)・大関ペア(9月23日、日本体育大戦で) = 遠子内早紀撮影

秋季リーグの悔しさバネに

全日本学生選手権大会(インカレ)が10月12-18日にハンチアアリーナ(東京都右京区)などで開催され、筑波大女子は決勝で興大を破り、史上初の5連覇を果たした。また、シングルスでは香山未帆(体専2年)が初優勝し、団体と個人の2冠を達成した。本大会の結果を受け、香山、安田美空(同3年)、大関奈奈(同2年)が全日本総合選手権の出場権を手にした。

(吉永真理(生物学類3年)

バドミントン

14日、筑波大女子は準決勝の日本体育大との対戦を3-1で勝利し、決勝進出。10月に行われた秋季リーグ戦では準優勝に終わったが、その悔しさをバネに龍谷大との試合を3-1で制し、優勝を決めた。

第1シングルスでは安田が1-2で敗退、続く第2シングルスでは香山が2-0で快勝し、敗戦の流れを断った。

同点で迎えた第1ダブルスには山中(同4年)・大関ペアが相手は昨年優勝した強者だったが、果敢に挑戦した。ラリーを長く引かせ、相手の甘い球を見逃さず打ち込む着実なプレーで第1ゲームを取る

山中・大関が貢献

2-0で勝利した。「相手の焦りが見えて勢いがついた(山中)。

4試合目の第2ダブルスには、チームの柱である安田・香山ペアが出場。第1ゲームは落としたが、第2ゲームでは粘り強さを見せ、一進一退の接戦を見事制し、22-20で勝利した。

試合は最終ゲームへもつれ込んだが、「今季ダブルスでは一度も負けていないので自信があった(安田)と話すように、堂々としたプレーで相手を圧倒し、勝利。3-1で優勝を決めた。

主将の安田は「連覇を果てた安心感がある」と話した。吹田真士監督(体育系・助教)は「強豪相手に勝利した山中・大関ペアの貢献が大きい。全日本総合選手権の出場権を獲得した選手には、誇りをもって戦ってほしい」と話した。

秋季リーグ準備

【日本体育大学健志台キャンパス米本記念体育館(横浜市青葉区)で遠子内早紀(教育学類1年)関東大学秋季リーグ戦が9月15日-23日に行われ、筑波大女子は準優勝に終わった。23日の最終戦では日本体育大と対戦。3-1で逆転勝利を果たした。

第1シングルスでは安田美空(体専3年)が0-2で落としたが、第2シングルスでは香山未帆(同2年)が勢いのあるプレーで相手を圧倒。2-0でゲームを制した。第1ダブルスには山中(同4年)・大関奈奈(同2年)ペアが出場。2-0で快勝した。

続く第2ダブルスには安田・香山ペアが出場した。前衛・後衛の絶妙な連携で差をつけ、2-0で勝利。日本体育大に3-1で勝利した。

明治大に大敗

ラグビー

【足利市総合運動公園陸上競技場(栃木県足利市)で明治大との対戦。前半から相手にリードを許し、後半立ち上がり5点差まで迫ったが、21-66で敗北した。

開幕から連敗スタートとなった筑波大は10月7日に明治大と対戦。前半から相手にリードを許し、後半立ち上がり5点差まで迫ったが、21-66で敗北した。



相手を振り切る仁熊(10月7日、明治大戦で)

分、筑波大のスクラムから明治大にボールを奪われ、トライを取られると流れが一変。幾度もスクラムで押し返され、立て続けにトライを許し、前半を7-26で折り返した。

だが、後半に入って筑波大は息を吹き返した。後半開始早々、ボールがサイドに落ち、仁熊(体専4年)が自陣から走り切り、筑波大が先制。その後、相手のミスが重なり、筑波大の攻撃が続いた。だが、要所でボールを奪われ、追加トライを取れない。21-66で敗北した。

古川拓生監督(体育系・准教授)は「スクラムの後退が敗因の全て。攻守が切り替わった一瞬を突くことが勝利には必要だった」と語った。

関東大学リーグ 男子 3季ぶり優勝

【国土領大学多摩キャンパス(東京都多摩市)で豊岡恵二比較文化学類2年、写真も】10大学で争う関東学生男子秋季リーグ戦が9月1日から11月4日まで行われ、筑波大は7勝2敗で3季ぶりに優勝を果たした。また、最優秀選手賞に森永浩壽(体専4年)、優秀選手賞に伊藤聖哉(同3年)、山口勇樹(同3年)、山田曉央(同3年)が選ばれた。



ディフェンスを振り切り、シュートを狙う矢野(10月7日、早稲田大戦で)

ハンド

10月7日の男子1部リーグ最終戦では、今年度の春季リーグ戦で敗北を喫した早稲田大と対戦。柔軟なプレーで試合の流れをつかんだ筑波大が35-20で快勝した。前半、筑波大は先制点を早稲田大に譲ったが、直後に逆転。キーパー森脇龍同(4年)の好セーブと森永を中心とした攻撃で順調に点を差を広げた。早稲田大も果敢に挑戦したが、筑波大は堅いディフェンスと高さのあるシュートで16-9と7点差をつけ前半終了。後半、開始直後には早稲田大に得点を許したが、筑波大の勢いは止まらず、牧野イサム(同4年)らが次々と得点。後半10分には12点差をつける猛攻を見せた。

早稲田大に快勝

た。その後も筑波大は試合終了まで全く攻め手を緩めず、矢野世人(同1年)が得点を決めるなど15点の差をつけて勝ち星をあげ、優勝を果たした。藤本元監督(体育系・助教)は、「相手に合わせること柔軟なプレーをしたことが勝利につながった。今回は点差をつけた試合運びができたが、今後は1、2点差の競り合いに勝つような練習をしたい」と振り返った。また、最優秀選手に選ばれた森永は「ディフェンスやシュート、速攻などを試合の序盤から上手く行うことができた。選手全員が良い動きができていたと思う」と語った。また、筑波大は11月10日から行われる全日本学生選手権(インカレ)への出場が決まっている。

田嶋 優勝の背負投

全日本学生体重別選手権



横内の一瞬の隙を突き、背負投で一本を奪う田嶋(右)(9月30日、決勝で)

柔道

【日本武道館(東京都千代田区)で池田花於里(比較文化学類2年、写真も)全日本学生体重別選手権が9月29、30日に行われ、男子90kg級で田嶋剛希(体専3年)が優勝。横内晋介(同2年)が準優勝した。30日の男子90kg級、田嶋は初戦となった2回戦では一進一退の攻防が続いたが、延長4分半に大腰で一本勝ち。その後も一本勝ちが続く。準決勝では中盤で相手のペースを持ち込まれたが、残り約30秒で一本背負投を決め勝利した。一方横内は1回戦から着実な勝ち上がりを見せた。準決勝では、残り1分20秒

で一本背負投の技ありを奪い、優勢勝ちで決勝進出。同門対決となった決勝では、組み手争いが続き、開始1分過ぎに両者に指導が与えられた。だがその直後、田嶋が一瞬の隙を突き背負投を仕掛け、一本を奪い勝利した。全試合一本勝ちで優勝した田嶋は「大学に入ってから、個人戦で勝てないことが続いていた。今大会では自分のペースで試合をして、最終的には投げるといいう形が目標だった」と話した。また、今回は全試合が投げでの勝利だったが「得意な寝技でポイントを取りたい」と話した。

世界ジュニア

関根が初優勝

世界ジュニア選手権が10月17-21日にバハマ・ナッソーで行われ、男子100kg級で関根聖隆(体専1年)が優勝した。関根は準々決勝、準決勝と一本勝ち。決勝はキャサリン・オランダを相手になかなか投げ切れず延長戦へ突入した。だが粘り強く攻め、延長17秒に勢勝ちで優勝に輝いた。関根は「相手をよく研究し自分の強みを最大限に出せた。組み手の精度などが課題。次はニアで世界一を取りたい」と話した。(池田花於里)

惜しくも2位



4回を無失点で切り抜けた先発の佐藤(10月14日、日本体育大戦で)

野球

首都秋季リーグ

【浦安市運動公園野球場(千葉県浦安市)で豊岡恵二比較文化学類2年、写真も】6大学が優勝を争う首都秋季リーグ戦が9月1日から10月14日まで行われ、筑波大は8勝3敗の2位で大会を終えた。24季ぶりの優勝を懸けて臨んだ10月14日の日本体育大戦では、打線が相手投手陣に散発4安打と抑えられ、先制点を奪われた。この間に三塁走者がホームに生還。先制点を奪われた。5回からは加藤三範(同2年)が登板。今季自責点が0と好調だったが、四球、エラーで次々に出塁を許した。無死一、三塁とされ、24季ぶりの優勝を懸けて臨んだ10月14日の日本体育大戦では、打線が相手投手陣に散発4安打と抑えられ、先制点を奪われた。

スポーツの顔

今年6月の柔道の全日本学生優勝大会(団体戦)で、1年生ながら主力として全試合に出場した。準決勝まで全て一本勝ちし、筑波大の準優勝に貢献。また、10月の世界ジュニア選手権100kg級では優勝を果たした。これからの日本を背負って立つ期待の新星だ。



世界ジュニア柔道選手権で金メダル

関根聖隆(体専1年)

「地獄の時期」を経て高校三冠
という明確な目標を立てた。後初の大会となった10月の朱雀杯では、練習不足が如実に現れ、散々な結果に終わった。「このままでは駄目だ。朱雀杯の惨敗がきっかけで、準決勝の国士館高戦は1-0で辛くも勝利した。決勝では副将戦に

るなど苦戦を強いられ、0-3で敗れた。先発の佐藤幸輔(体専1年)は毎回走者を背負う苦しい投球を強いられた。4回には2死二、三塁のピンチを招いたが、後続を断ち無失点で切り抜けた。5回からは加藤三範(同2年)が登板。今季自責点が0と好調だったが、四球、エラーで次々に出塁を許した。無死一、三塁とされ、24季ぶりの優勝を懸けて臨んだ10月14日の日本体育大戦では、打線が相手投手陣に散発4安打と抑えられ、先制点を奪われた。この間に三塁走者がホームに生還。先制点を奪われた。5回からは加藤三範(同2年)が登板。今季自責点が0と好調だったが、四球、エラーで次々に出塁を許した。無死一、三塁とされ、24季ぶりの優勝を懸けて臨んだ10月14日の日本体育大戦では、打線が相手投手陣に散発4安打と抑えられ、先制点を奪われた。

学内にカスミ・サザコーヒー開店 カスミ会長に単独取材



学生や地域住民で賑わうカスミ筑波大学店内 (10月1日、同店で) = 木村誠撮影

平砂学生宿舎北に10月1日、スーパー「カスミ筑波大学店」とカフェ「サザコーヒー筑波大学アリアンサ」が開店した。カスミ(つくば市西大橋)は茨城県を中心に6県で187店舗を展開するが、開店に合わせ、同社の小瀧裕正会長が本紙の単独取材に応じた。一問一答は次の通り。

(木村誠 秋田耕平、4面に関連記事)

——同店の特徴は。 暮らしの学生が対象。家族が来店するため、一人向けを想定する他店舗と違

い、野菜や果物は1個単位、総菜は1人前で販売する。また、電子マネーWAONとクレジットカードのみ使用できるキャッシュレスのセルフレジを全面導入し、店員の仕事を削減するなど、実験的な取り組みの場でもある。

——完全キャッシュレス化はカスミでは初の取り組みです。 日本の小売業界ではこれまで、先進技術の導入が遅れていた。一方、中国やベトナムなどのアジア諸国では、現金を用いない決済が主流だ。(カスミでは)現

金決済のない店舗は初めてだが、学生には受け入れられると思う。 ——今後の展望は。 現在はセルフレジだけでなく、今後商品管理や発注なども自動化させたい。また、筑波大の研究者らと連携し、IoTやAIなど最新技術を取り入れたい。IoTは身の回りのあらゆる機器がインターネットにつながる。ネットワークを構築し、業務の効率化や新サービスの提供などにつながることを期待している。



小瀧裕正会長

同日10時からの同店の開店記念式典には、永田恭介学長、小瀧会長、サザコーヒー(茨城県ひたちなか市)の鈴木太郎副社長、つくば市の五十嵐立青市長ら約50人が参加した。

カスミは同店は留学生向けに輸入食材を多く取り扱うほか、筑波大内の農場で生産したマンゴスの農産物も販売する。また、アプリなどが探せる検索機能や電子レンジ、無料WiFiなどを備える交流スペースのほか、性別を問わず利用できる「だれでもトイレ」などを整備した。

開店日に訪れた学生は「今までスーパーが自宅から遠く、特に雨の日は買い物に行けなかった。スーパーが近くにでき本当に助かる」と話した。

学生の自転車事故約倍増

4～9月 負傷者は28人

筑波大学生がかかわった4～9月の交通事故は51件(学生負傷者32人)で昨年同時期の36件に比べ、件数が約1.5倍増加したことが学生生活課への取材で分かった。うち自転車関連の事故が32件(同28人)と最多で、昨年の同時期の18件に比べ約倍増。同課の担当者は自転車事故の増加について「ポスターや授業による啓発活動を徹底したい」と話している。



事故が多い松美上池前のペデストリアンデッキ (10月26日、第一エリアで)

同課によると、事故はつくば市と土浦市で発生。全51件のうち、衝突など自動車だけが絡むものが最多の14件(学生負傷者2人)。次いで▽走行中の転倒など自転車単独事故が14件(同12人)▽自動車と自転車絡むものが14件(同12人)▽自転車同士のもの3件(同3人)▽自動車

と歩行者が絡むものが2件(同2人)▽バイクと自転車絡むものが2件(同2人)……だった。これらの事故で筑波大生の死者はゼロ。だが今年5月に学内で起きた自動車と自転車の衝突事故では、全治1カ月以上の負傷者が出ている。

自転車関連の事故32件では、約半数の14件が大学内の事故。同課の担当者によると事故の多発場所は▽松美上池前のペデストリアンデッキ▽中央図書館と人文社会学系棟の間▽大学会館そばの横断歩道▽カスミ筑波大学店付近……などという。これらの場所の共通点は道幅が狭いほか、交差点があり、これらが事故が起きやすい要因だという。

運転のマナー 遵守を

記者の目

筑波大生の自転車事故の増加の一因に、学生の自転車のマナーの悪さがある。10月、事故が多発している松美上池前のペデストリアンデッキ上で午前10時から午後6時までの8時間調査したが、▽イヤホンをつけたまま▽傘差し▽スマホを操作しながらの運転▽夜の無灯火……などが多数見受けられた。

6月にはつくば市内の19歳の男子がイヤホンをつけてスマホを操作しながら自転車を無灯火で運転し、前方の歩行者に気づかず衝突。死に至る事故が発生した。自転車マナーの遵守を求めたい。(森賀遼太)

移動スーパー販売中止 一の矢宿舎での運行は継続

平砂地区のグローバルウイレッジと一の矢学生宿舎の2カ所です。昨年4月から運行していた移動スーパー「移動スーパー」は、カスミ万博記念公園駅前店が運営し、昨年4月から毎週土曜日の日中に生鮮食品や日用品を販売。主に日本に来て日が浅く、近くにスーパーがないグローバルウイレッジや一の矢宿舎のシヨートステイハウスに住む留学生向けに始められた。

移動スーパーは、カスミ万博記念公園駅前店が運営し、昨年4月から毎週土曜日の日中に生鮮食品や日用品を販売。主に日本に来て日が浅く、近くにスーパーがないグローバルウイレッジや一の矢宿舎のシヨートステイハウスに住む留学生向けに始められた。

移動スーパーは、カスミ万博記念公園駅前店が運営し、昨年4月から毎週土曜日の日中に生鮮食品や日用品を販売。主に日本に来て日が浅く、近くにスーパーがないグローバルウイレッジや一の矢宿舎のシヨートステイハウスに住む留学生向けに始められた。



盆踊りを楽しむ参加者 (9月22日、研究学園駅前公園で)

盆踊りの魅力を知ってほしい」と話した。(田所涼二 教育学類1年、写真も)

移動スーパーは、カスミ万博記念公園駅前店が運営し、昨年4月から毎週土曜日の日中に生鮮食品や日用品を販売。主に日本に来て日が浅く、近くにスーパーがないグローバルウイレッジや一の矢宿舎のシヨートステイハウスに住む留学生向けに始められた。

移動スーパーは、カスミ万博記念公園駅前店が運営し、昨年4月から毎週土曜日の日中に生鮮食品や日用品を販売。主に日本に来て日が浅く、近くにスーパーがないグローバルウイレッジや一の矢宿舎のシヨートステイハウスに住む留学生向けに始められた。

移動スーパーは、カスミ万博記念公園駅前店が運営し、昨年4月から毎週土曜日の日中に生鮮食品や日用品を販売。主に日本に来て日が浅く、近くにスーパーがないグローバルウイレッジや一の矢宿舎のシヨートステイハウスに住む留学生向けに始められた。

移動スーパーは、カスミ万博記念公園駅前店が運営し、昨年4月から毎週土曜日の日中に生鮮食品や日用品を販売。主に日本に来て日が浅く、近くにスーパーがないグローバルウイレッジや一の矢宿舎のシヨートステイハウスに住む留学生向けに始められた。

異国の地で試される精神力



キエフ国立大学 (ウクライナ) 佐藤澄佳

私は3月からウクライナの首都キエフに留学している。留学というと、異文化に触れてキラキラ輝く楽しい海外生活を楽しむような印象が世間的にはあるかもしれないが、私の留学はそうではない。私

2カ所とも運行開始直後は1日50人以上が訪れていたが、徐々に減少。担当者によると、一日の売り上げは現在2カ所合わせて平均約1万円。利用者が皆無の日もあり、赤字続きだったという。

担当者は、「当面(一の矢宿舎での運行は)続けるが、今後の売り上げ次第では撤退する可能性もある」と話している。これに対し、一の矢宿舎に住む学生は、「近くにスーパーがないため利用したいが(利便性を考え)平日に運行してほしい」と話した。(越智小夏)

移動スーパーは、カスミ万博記念公園駅前店が運営し、昨年4月から毎週土曜日の日中に生鮮食品や日用品を販売。主に日本に来て日が浅く、近くにスーパーがないグローバルウイレッジや一の矢宿舎のシヨートステイハウスに住む留学生向けに始められた。

移動スーパーは、カスミ万博記念公園駅前店が運営し、昨年4月から毎週土曜日の日中に生鮮食品や日用品を販売。主に日本に来て日が浅く、近くにスーパーがないグローバルウイレッジや一の矢宿舎のシヨートステイハウスに住む留学生向けに始められた。

の留学は血と汗にまみれている。留学は、住み慣れた日本とは180度異なるこの環境とこんなことにも負けない精神力がどれだけの差があるかにかかっている。キエフで7カ月ほど過ごしてこのような教訓を得た。ここでは、そのような教訓を引き出した出来事のひとつを紹介したい。

ここへ来ると、在留カードの作成と留学ビザ延長のために大学の国際課にパスポートを預けた。この手続きは3週間が終わると言われた。3週間後行くと、まだ終わっていないという。海外では基本的にこういうた事務手続きは時間がかかることは聞いていたし、パスポートが必要になる場面も特になかった。遅くとも2カ月くらいで戻ってくるだろうと気が

日本大使館に助けを求めた。大使館ではビザやパスポートに関して困っている日本人を助けてくれると聞いた。このビザの期限はとくに過ぎ、国際課へそのことを言いに行っても、何も問題はないと一蹴。7月にはウクライナ国外でのサマースクールを予定していた。それまでに返ってこなければ予定が全て台無し。なんとか返してほしくて、いろいろなことをやってみた。

国際課へ怒りに行ってみた。怒ったら仕事をしなさいという話を聞いたのだ。怒ってみたが、在留カードの台紙がないから仕事が遅れているのだとか、私の責任ではないだとか、いろいろな言い訳を聞くに終わった。その後も定期的に怒ってみたが、進展はなし。

大、と国際課へ急ぐが、パスポートの返却はまだらしい。少しがっかりしたが、事態が進展したのでよしとした。このあと移民局や役所を回り必要な手続きを済ませ、やっと全てが終わりパスポートを受け取った。パスポートを手にした喜びは表現しようがなかった。結局手続きを終えるのに4カ月近くかかった。こちらの人がのんびりしていると知らず知らずのうちに思っていたが、まさかここまで思わなかった。

授業開始1カ月遅れ

英語15科目 学生から不満の声も



グローバルコミュニケーション教育センター (10月31日、体育・芸術エリアで) = 秋田 耕平撮影

筑波大学グローバルコミュニケーション教育センター開設の英語の一部授業、秋学期の授業開始が通常の10月1日から11月にずれ込んだことが同センターへの取材で分かった。同センターの警備主任センター長(人社会・教授)によると、授業の担当教員3人が春学期末で退職し、後任選びが難航したことが原因。また、この難航の背景には年度途中の採用に加え、都内の私立大学で待遇面で差がある点もある。授業開始の遅れが1カ月に及ぶのは異例で、学生からは不満の声が出ている。(小池凛太郎、比較文化学類1年、秋田耕平、田所涼)

11月にずれ込んだ授業は教員3人が担当し、3人は1年次必修の英語14科目と二部学類で2年次必修の専門英語基礎演習1科目の計15科目。警備センター長によると、これら3人の授業は教員3人が担当し、3人の任期は8〜9月末までだった。後任教員の採用では事務手続きなどにも時間がかかったという。また、退職教員のうち1人は週8コマを担当。このように多量の授業を担当する教員の確保も難しかったという。過去、同様の問題が起きた際は、別の教員が代講していたが、学生から「同じ教員で一貫してやってほしい」という声が多かったことから、現在は原則として行っていない。

また、警備センター長によると、給与や立地の条件がよい都内の私立大と比べ筑波に難色を示す教員もいて、採用は難しいという。同センターでは遅れた授業について、補講などの対応を検討している。警備センター長は「多くの授業で

授業開始が1カ月も遅れたことは極めてまれな事態。学生には申し訳ないが、遅れは挽回するの理解してほしい」と話した。一方、履修する学生は「補講など」冬休みや春休みがなくなるなら困る。授業開始の遅れを秋学期開始前に伝えてほしいと話した。また、別の学生は「10月中だけでも他の教員に代講してほしい」と話した。一体成績はどう付けるのかと話していた。

学内で留学生と気軽に話す学生を多く見かける。その中に入りたいと思うが、何せ英語力がない。「英語力を上げる」と担当教員に何度も言われてきた。後悔したのは今年夏、筑波大学の海外留学派遣支援事業「海外武者修行支援プログラム」の助成を受け、オランダへ取材に行った時のことだ。同行の記者は英語でほとんど質問し、乗れは挽回するの理解してほしい」と話した。

記者の目

訪れた学生は「秋田県の『いぶりがっこ』を初めて食べた。実際に東北に行ってみたくなった」と話していた。(建内亮太、人文学類2年)

東北の食と酒楽しむ

東日本大震災の写真も展示

東北地方の料理や地酒をテーマに、つくば市吾妻で開かれた。祭りには東北地方から24店が出店。会場は多くの人でにぎわった。

東北地方の料理や地酒を通じて来場者に魅力を知ってもらう。東北地方を応援する「震災アース」や、東北地方の名所や祭りを紹介する「わくわくマップ」などの企画も。一方、ステージでは、東北五大祭りの一つ「盛岡さんさ踊り」を音都園に広める「赤坂さんさ」の演奏や、筑波大学フォークロレ愛好会の演奏などが披露され、会場を盛り上げた。

「わくわくマップ」などの企画も。一方、ステージでは、東北五大祭りの一つ「盛岡さんさ踊り」を音都園に広める「赤坂さんさ」の演奏や、筑波大学フォークロレ愛好会の演奏などが披露され、会場を盛り上げた。



食と酒東北祭りを楽しむ来場者 (10月14日、つくばセンター広場で) = 木村誠撮影

パラ競技で多様性理解

障がいのある無国籍などの多様性を考える「Diversity Week 2018」(ダイバーシティ・アクセシビリティ・キヤリアセンタ)が、就職課主催で10月10〜12日、筑波大学中央図書館などで行われた。3日間の6企画のうち、10日には日本財団(東京都港区)のバラリンピックサポーターと、年齢や障がいに関わらず楽しめるアダプテッド・スポーツを広める筑波大学の学生団体「ADD JUST」の共催で「ポッチャ」の体験を行った。ポッチャは赤青各チームが自軍の色の玉



ポッチャを体験する参加者 (10月10日、第一エリアで)

を、別の白いボールへより近く投げることを競うもの。今回は健常者も楽しめるようルールを一部変更。ルール説明の後、参加者が競技を楽しんだ。11日には、視覚や聴覚などの障がいに関する企画を実施。参加者は特殊なゴーグルで、視野が欠ける視野狭窄や視界が白濁する白閃障などを疑似体験したり、聴覚障がい学生へ向け授業内容をパソコンで打ち込み表示する支援を体験した。参加した学生は「障がいを実際に体験することで、障がい者の生活を理解できた」と話した。また、五十嵐浩也同センター長は「直接的な体験を通じて、多様性を考えるきっかけにしてほしい」と話した。(小池凛太郎、写真も)

探る

近年の雙峰祭の定番になったプロのバンドによるライブイベント。熱狂に包まれるステージの裏側でライブの成功に向けて奔走する姿があった。TMP(つくばミュージックプロジェクト)の面々だ。

今年レゲエバンドとして人気の「S.I.M」が学園祭でライブをする企画に応募。会員らでメンバーへの想いを綴り文章を送り、見事当選し、雙峰祭への招致が決まった。会員の降田貴大さん(人文4年)は「雙峰祭のライブをきっかけに知ったバンドがテレビなどで活躍しているのを見るのがうれしい」と話す。このほか、音楽イベントも主催する。昨年から



雙峰祭でのライブについて話し合う会員たち (10月9日、3L棟で)

「Nice to meet you」を不定期で開催。また5月にはTSUT

TMP

(つくばミュージックプロジェクト)

近年の雙峰祭の定番になったプロのバンドによるライブイベント。熱狂に包まれるステージの裏側でライブの成功に向けて奔走する姿があった。TMP(つくばミュージックプロジェクト)の面々だ。「雙峰祭でプロのバンドが見たい」という想いから、2012年に結成した。目標は「つくばを音楽で楽しもう。最も力を注ぐ活動は雙峰祭」。

つくばで音楽と人の出会いを

「Nice to meet you」を不定期で開催。また5月にはTSUT

催事

11月13(火)〜18(日)に第15回DC展が茨城県つくば美術館(つくば市吾妻)で開催される。DC展は筑波大学大学院の人間総合科学研究科の博士後期課程で芸術を専攻する学生らが制作した洋画・版画・日本画・彫塑・書作品を展示する。開催時間は午前9時から午後5時までで、最終日は午後3時で閉館。入場は無料。問い合わせ 15hdcex@gmail.com

DC展

11月30日(金)まで附属図書館特別展「グローバルに挑む群像―幕末から明治へ―」が開催されている。同展では、幕末・維新期から明治前期を中心に、グローバルな世界に挑戦した人々の姿を附属図書館所蔵の貴重図書・和装古書から取り上げ、日本近代の在り方を考える。また、10日午後1時30分からは山澤孝准教授(人社会)による講演会も開催される。時間は午前9時から午後5時まで。入場は無料。問い合わせ 0299-853-2376

挑む群像―幕末から明治へ―」が中央図書館2階集客室で開催されている。同展では、幕末・維新期から明治前期を中心に、グローバルな世界に挑戦した人々の姿を附属図書館所蔵の貴重図書・和装古書から取り上げ、日本近代の在り方を考える。また、10日午後1時30分からは山澤孝准教授(人社会)による講演会も開催される。時間は午前9時から午後5時まで。入場は無料。問い合わせ 0299-853-2376

の野外スペースで13人が出演し、音楽に合わせた即興映像を切り替えていくビデオジョッキーを披露した。会員の永村勇真さん(社会学2年)はSMA Pの「\$10」やサカナクションの「夜の踊り子」の2曲をDJで披露し、観客を魅了した。代表の水野真由美さん(又創3年)は「日々喜ばれるのに伴う景色の変化も観客の目を惹きつけ、野外を生かしたと語る。また5月にはTSUT

「Nice to meet you」を不定期で開催。また5月にはTSUT

